

政策評価調書(28年度実績)

政策名	恵まれた環境の未来への継承 ～おおいとうつくし作戦の推進～	政策コード	I-4	関係部局名	生活環境部、商工労働部、農林水産部、土木建築部
-----	----------------------------------	-------	-----	-------	-------------------------

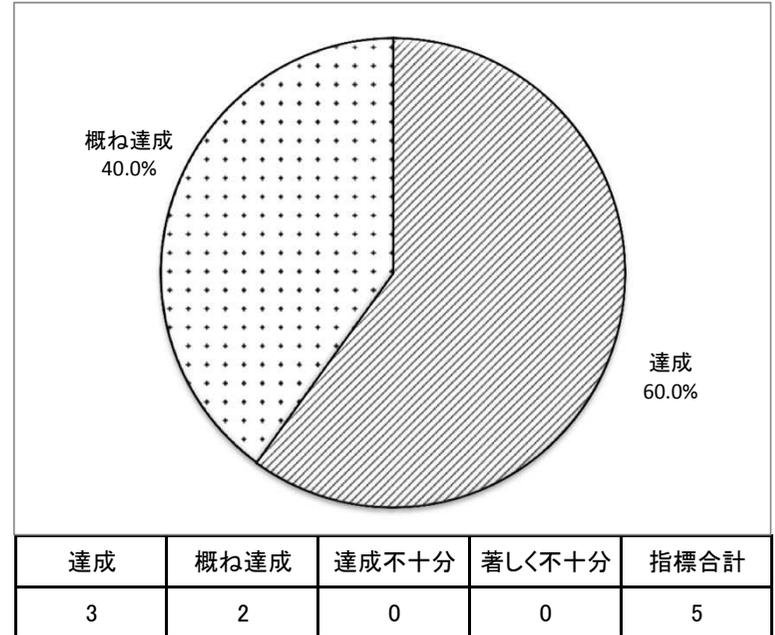
【I. 政策の概要】

生物多様性や自然環境の保全などによる自然と共生する社会づくり、3Rの推進、豊かな水環境の創出などによる循環型の社会づくり、地球温暖化対策による低炭素社会づくりを推進するとともに、環境教育や地域活性化型の環境保全活動として「おおいとうつくし作戦」を推進することで、美しく快適な大分県を実現する。

【III. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	達成	A
2	循環を基調とする地域社会の構築	達成	A
3	地球温暖化対策の推進	達成	A
4	すべての主体が参加する美しく快適な県づくり	概ね達成	A

【II. 構成施策の目標指標の達成状況】



【V. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

日本ジオパークや世界農業遺産の認定、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの登録決定など、本県の豊かな天然自然や地域資源を見つめ直す機運が高まっており、これらの活用が期待されている。このような自然を将来に継承できるよう、自然共生社会づくりを進める必要がある。

そのため、危機が進行している生物多様性の保全に向け、希少野生動植物の種が生息・生育している地域の生態系全体の保全を行う「愛知目標」を踏まえた県民全体による保護・保全体制づくりや、豊かな水環境をつくるため、流域住民が主体となって、河川保全活動や生活排水対策を促進することが重要である。

また、地球温暖化による自然生態系、農林水産業等への影響が一層深刻化すると懸念される中、「第4期大分県地球温暖化対策実行計画」に基づき、温室効果ガスの排出抑制による温暖化の進行を緩和する取り組み(緩和策)及び温暖化の影響を軽減するための取り組み(適応策)が必要である。

加えて、環境に配慮した美しく快適な大分県の実現に向け、地域活性化型の県民運動である「おおいとうつくし作戦」の理念を普及させるとともに、地域の牽引役である「おおいとうつくし推進隊」の活動の活性化などにより、県民意識のさらなる醸成と持続可能な活動基盤づくりや、H30年国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、ラグビーワールドカップ2019に向けた環境の視点でのおもてなし態勢の構築に取り組むことが必要である。

【IV. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—